

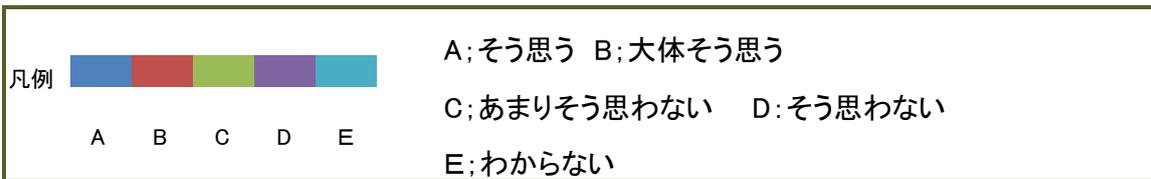
令和7年度 第2回学校評価アンケート結果

八王子市立浅川中学校学校運営協議会

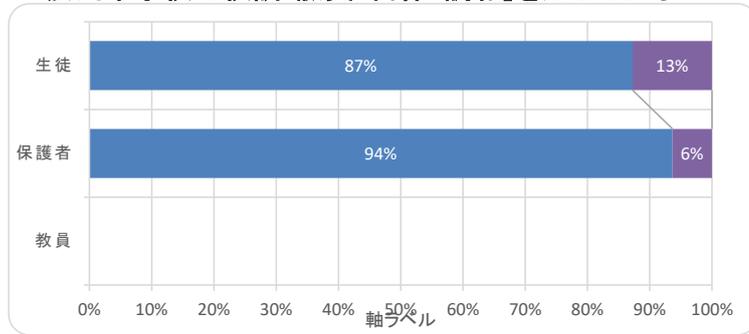
アンケート実施期間;令和7年12月1日～20日

保護者アンケート回収率;69%
 生徒アンケート回収率;84%
 教員アンケート回収率;78%

1年	対象 137人・回収 94人→回収率 68%	対象は生徒数
2年	対象132人・回収 90人→回収率 68%	
3年	対象117人・回収 83人→回収率 71%	保護者回収率(内訳)



1. 浅川中学校の校訓「誠実・自律・調和」を知っている

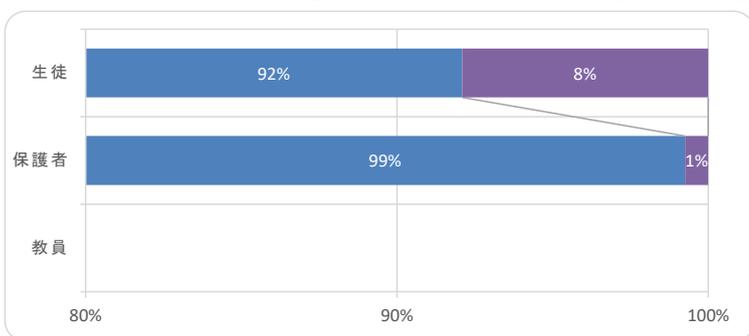


分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
 学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒84%、保護者94%)
 前回に比べ生徒の若干認知度が上がっている。

学校
 ●校訓の持つ意味や思い、願いを伝え続けていきます。教職員も学校目標と合わせ、常に意識していきます。

2. 学校が力を入れている取り組み「学校林を活用した教育」を知っている

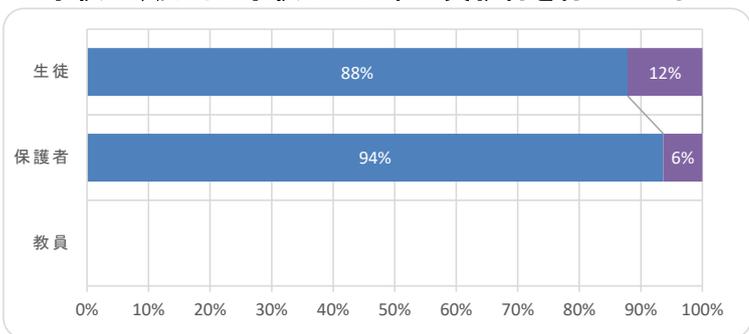


分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
 学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒79%、保護者98%)
 生徒の認知度が大幅に上昇している。9月に1年生で下草刈りを行ったからか。

学校
 ●学校林は浅中のシンボルの一つです。地域、保護者の方々の力をお借りしながら、本校の伝統として様々な取り組みを行っていきます。

3. 学校が、浅川小学校との小中一貫教育を行っていることについて知っている

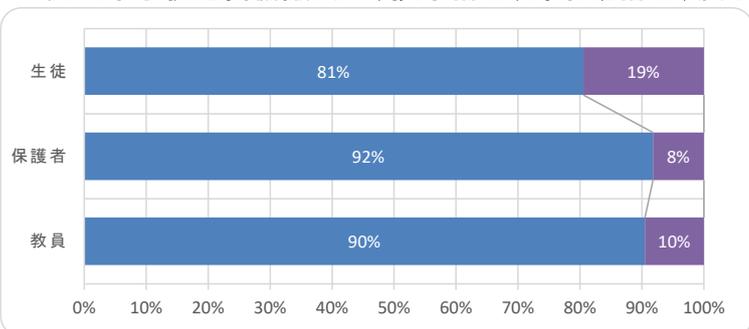


分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
 学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒87%、保護者97%)
 若干保護者の認知度が減少しているが、前回とほぼ変わらず高い水準である。

学校
 ・小学校との連携や協力は浅川地域の誇れるところとなっております。学び合う授業、高尾山学習、そしてキャリア教育へとつなげていきます。

4. 浅川中学校運営協議会の、授業補助、部活動補助、漢字検定実施などの活動について知っている



分析・コメント *アンケートはAまたはDの選択でした。
 学校運営協議会 ()内は、7月調査のAの割合です。

●(生徒74%、保護者93%)
 生徒の認知度が比較的低いが、前回と比べると若干上昇している。

学校
 ●高い認知度であると考えます。生徒会役員との懇談会など浅川ならではの活動も行われています。今後も地域の代表である学校運営協議会の皆様と連携しながら学校運営を行っていきます。

5. 学校は、子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている

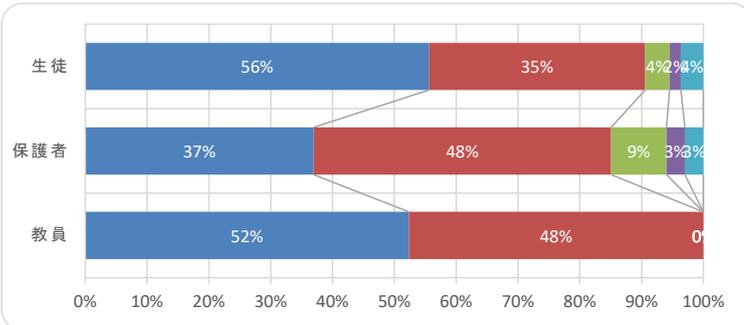
分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒92%、保護者87%)
前回同様の数値。保護者に比べ生徒の肯定的な意見が多くなっている。保護者からの賛同をもう少し高められると良い。

学校

●「自分を大切に、他の人も大切に」は人権意識そのものです。本校では学び合う授業を人権教育推進の第一の具体的手段として取り組んでいます。その上で、道徳、特別活動(学級活動、行事)、弁護士授業、車いす体験、赤ちゃんふれあい授業などを通して人権意識を高めていきます。



6. 学級は、落ち着いて学習できる雰囲気である

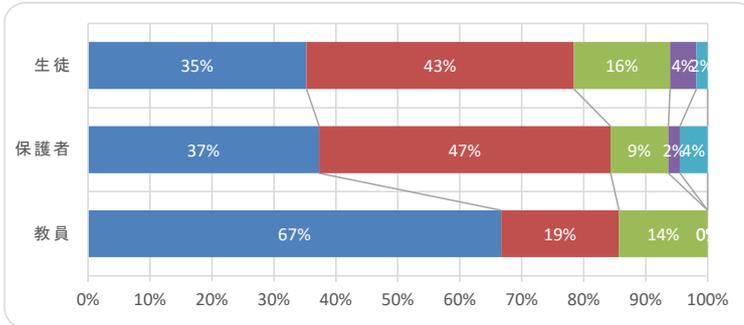
分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒72%、保護者87%)
生徒の肯定的な意見が上がっている。このままさらに上昇できるよう務めていきたい。

学校

●本校の生徒たちの学ぶ姿勢は多くの方から評価して頂いています。生徒、教員の頑張りや保護者の協力があるからこそだと考えています。そのことを自分たちの誇りとして感じた時、更に学ぶ姿勢が良くなっていくのではないかと信じています。



7. 学校は、次のような点で授業の工夫に取り組んでいる(説明、板書、発問、視聴覚機器、ICT機器の活用など)

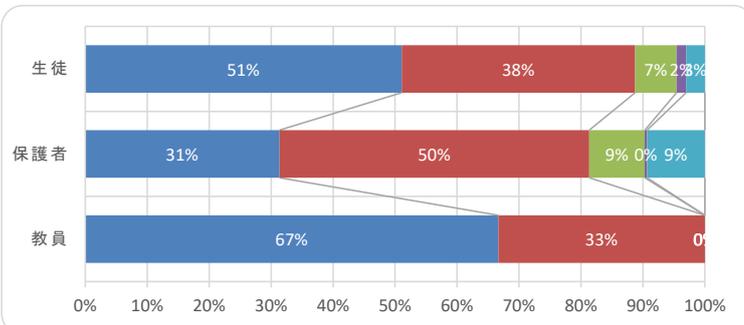
分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒85%、保護者84%)
生徒の肯定的な意見が若干上昇している。教員の取り組みがさらに認められると良い。

学校

●ICT機器の活用などは更なる研究や工夫が必要となります。また、グループ学習というツールを使ってより深い学びに向かうための授業研究に取り組まなければならないと考えています。



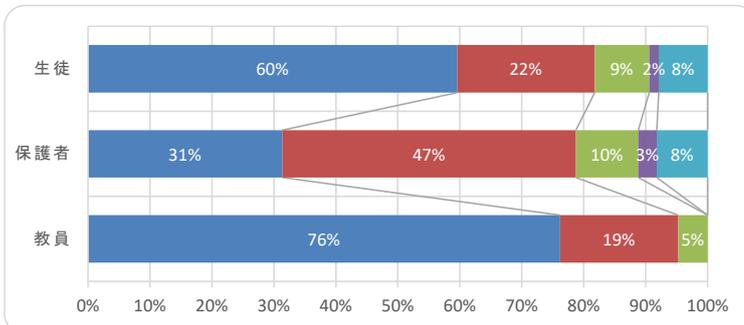
8. 学校は、いじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる

分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒91%、保護者79%)
前回に比べると生徒の肯定的な意見が大幅に減少している。教員との肌感覚にズレが有るよう。

●今年度の本校のいじめ認知件数は3件。すべて解消、見守り期間に入っています。毎月の学校生活アンケートや面談で早期発見、早期解決に努めています。些細な事でも学校と家庭で情報共有することが重要です。いじめのない学校づくりにご協力をお願いします。



9. 学校は、生活指導に熱心に取り組んでいる

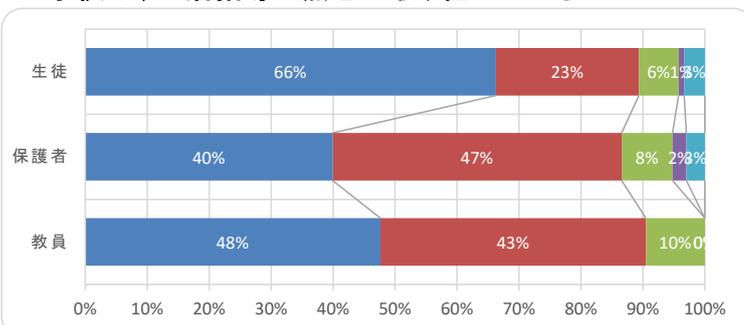
分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

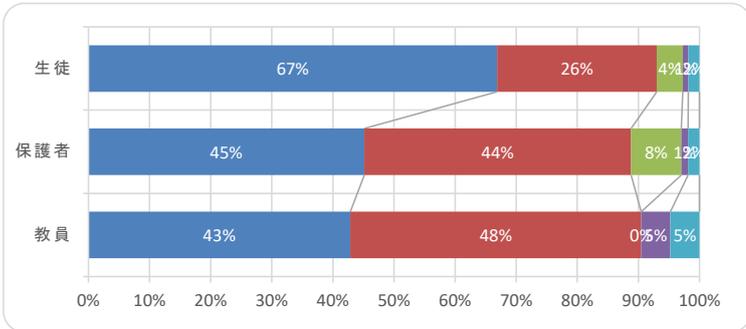
●(生徒93%、保護者90%)
ほぼ同水準を保っているが、若干の減少が気になる。3年生に比べて2年生の肯定的な意見が少ない。

学校

●高圧的な指導を行うことなく、教員と生徒の信頼関係を基に「温かく、時に厳しく」生徒指導を行っています。学年差が気になるころではありますが、生活指導部を中心に全校で足並みをそろえた指導を心がけていきます。



10. 学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる



分析・コメント

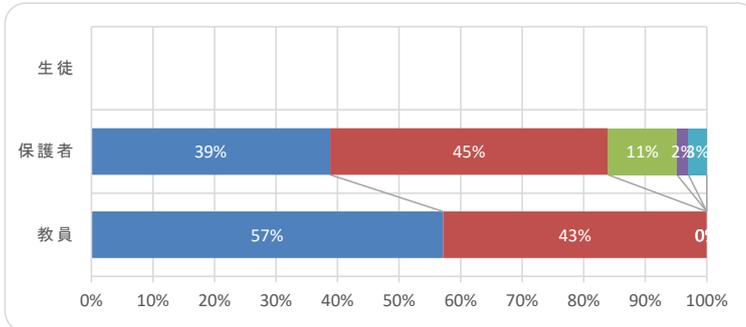
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒95%、保護者90%)
生徒、保護者、教員ともに高水準を保っている。このまま取り組んでほしい。

学校

●全校清掃も定着し、良い状態です。整美委員会の活動も校内環境整備に良い影響を与えています。しかし環境整備や清掃活動に取り組んでいる意識の差を感じることがあります。教員から見ると「もっと自分から」という姿勢を期待しているところがあります。

11. 学校は、保護者に対して適切に情報を提供している



分析・コメント

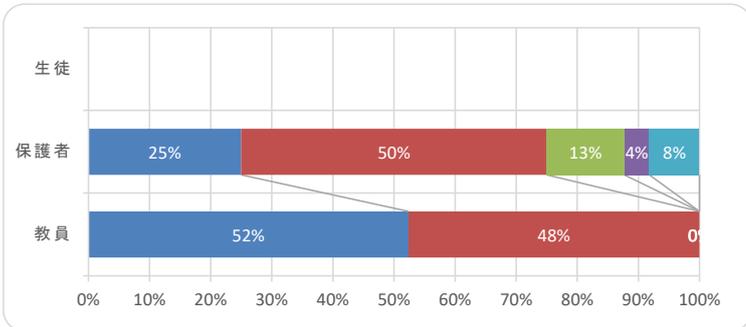
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者81%) 前回よりも肯定的意見の割合が少しアップ。学年別にみると今回は1年生保護者の肯定的意見の割合が少し低い。

学校

●学校だより、学年だよりは定期的に発行されています。特にホームアンドスクールによる連絡を丁寧に行っています。今後も、ホームページを含め、必要な情報を正しくタイムリーに心をかけていきます。

12. 学校の子供の学習に対する評価は、適切・公平である



分析・コメント

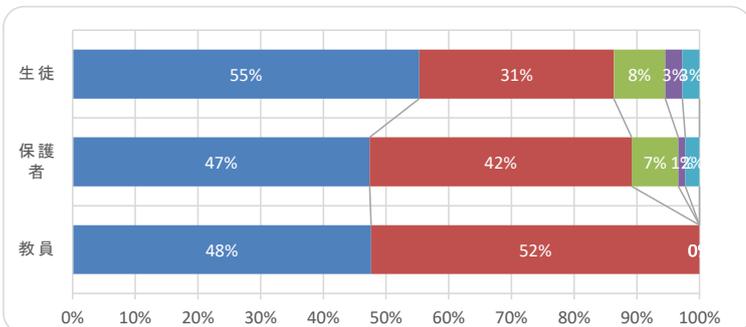
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者77%) この項目は毎回保護者、先生との割合の差がみられる所である。ほぼ前回と変わらず。今回は学年が上がるにつれ、徐々に肯定的意見が減る結果となった。

学校

●学習評価については学年が進むにつれて理解が進む傾向にあります。評価をその後の指導活かし、生徒の成長につながるものとなるよう評価の方法も工夫改善していかなければならないと考えています。

13. 先生は、生徒とよく話をしている



分析・コメント

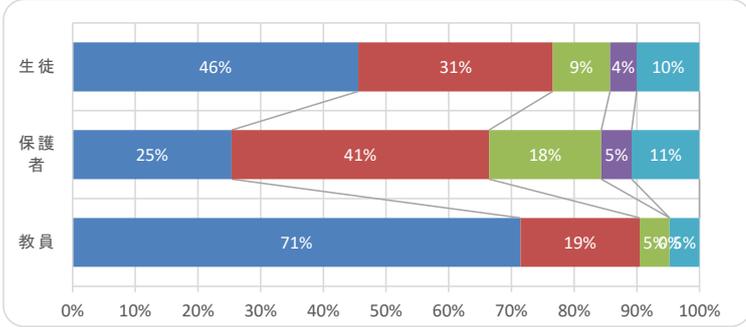
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒81%、保護者89%) 前回同様の結果。生徒より保護者の肯定的意見の割合が高く、学年別では生徒の肯定的意見は学年が上がるにつれ増えている。

学校

●肯定的意見が高い水準であることを嬉しく思います。「共い学び、もっと優しい学校」を目指す本校にとっての生命線が生徒同士、生徒と教員の信頼関係だからです。話をすること以外でも生徒に寄り添う姿勢を大切にしていきます。

14. 職業調べ、職場体験、高校説明会などの進路学習を通して、自分の将来や生き方を考えるようになった



分析・コメント

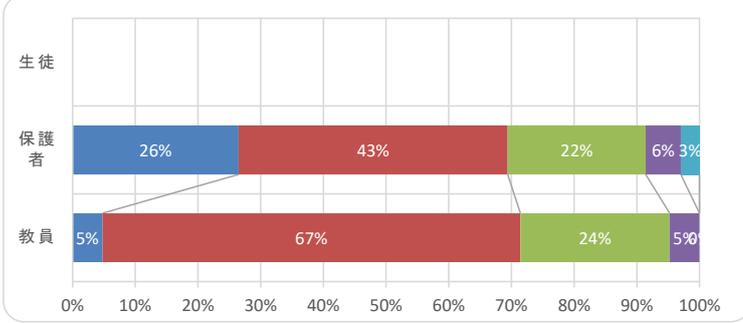
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒61%、保護者56%) 前回より生徒保護者の肯定的意見の割合がアップ。生徒、保護者とも学年が上がるにつれ肯定的意見の割合が増える傾向がある。

学校

●3年間をかけて行うキャリア教育が学年が上がるごとに高い水準になったことはよい傾向だと受け止めています。2年生から3年生にかけては自分を見つめ、将来を考える時期となったからであると考えています。

15. 生徒は、学習にしっかり取り組んでいる(家庭学習も)



分析・コメント

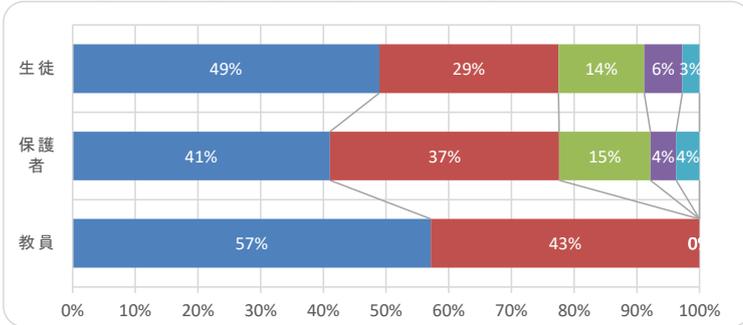
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者69%) 前回同様の結果となった。保護者、先生とも認識がほぼ一致している。学年別に見ると、1、2年生保護者の肯定的意見の割合は同様。3年生保護者の肯定的意見の

学校

●3年生の2学期は受験を意識して家庭での学習も意欲的に取り組んでいるからでしょう。毎回書かせてもらっていますが、早い段階から家庭学習の習慣をつけることは非常に重要です。家庭と学校の連携協力で家庭学習の習慣化を図ってまいります。

16. 生徒は、学級活動・生徒会活動に積極的に取り組んでいる



分析・コメント

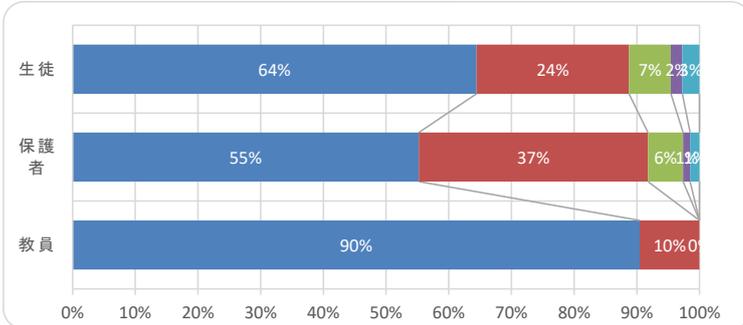
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒73%、保護者77%) 生徒の肯定的意見の割合がアップ。この項目も3年生生徒の肯定的意見の割合がいちばん高い。

学校

●近年の生徒会、委員会活動の充実が本校の誇れるものの一つになってきました。生徒たちの成長が本当に楽しみです。主体的な生徒の育成を目指す本校の良き伝統になっていくことを期待しているところです。

17. 生徒は、学校や学年の行事に積極的に取り組んでいる



分析・コメント

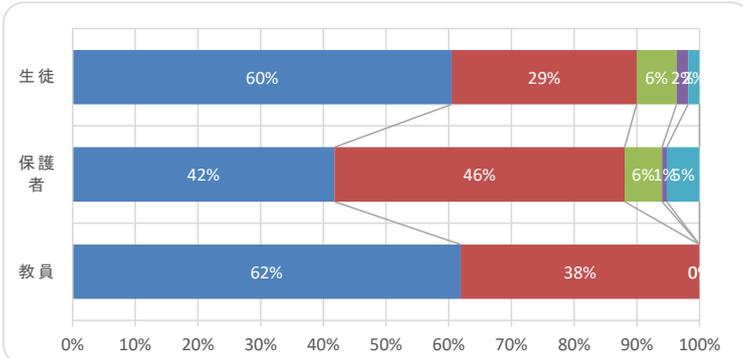
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒90%、保護者92%) 生徒、保護者とも前回同様。肯定的意見の割合が9割。すばらしい傾向といえる。

学校

●教員は行事への取り組みには手応えを感じています。保護者や地域の皆さんがそのことを評価していただけるのは大変励みになります。教員への負担も考慮しながら、今後も浅川中らしい行事を行い、生徒の成長につなげていきます。

18. 本校が取り組む学び合う授業づくりは良いと思う



分析・コメント

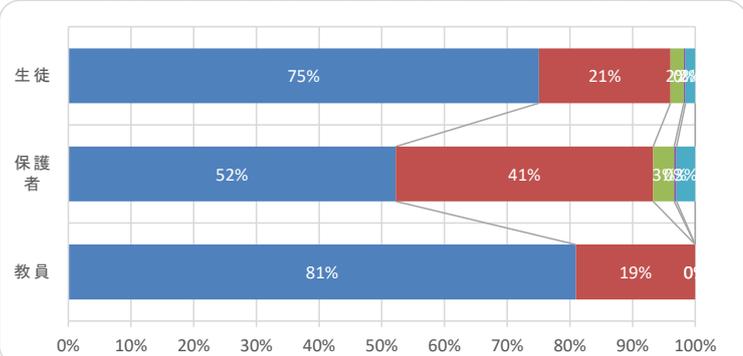
学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒91%、保護者89%) 前回同様の結果となった。学年別にみても大差がなない傾向といえる。

学校

●本アンケートや生徒による学び合いアンケート、授業アンケートでもほとんどの生徒が学び合う授業を肯定的に捉え、意欲的に参加しています。「だれ一人取り残さない授業」「他者から刺激を受け更に自分を伸ばす授業」とい理想に向かって、授業研究を進めていきます。

19. 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる



分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒94%、保護者93%) この項目も毎回肯定的意見の割合が9割越え。先生、生徒が一丸となり完全管理に取り組む姿勢が感じられる。今後も継続してほしい。

学校

●毎月行う避難訓練に生徒はしっかりと取り組んでします。生徒の取り組みの良さを背景に、今年度も通告なしの訓練、授業時間外の訓練などを行うことができました。

20. 学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。

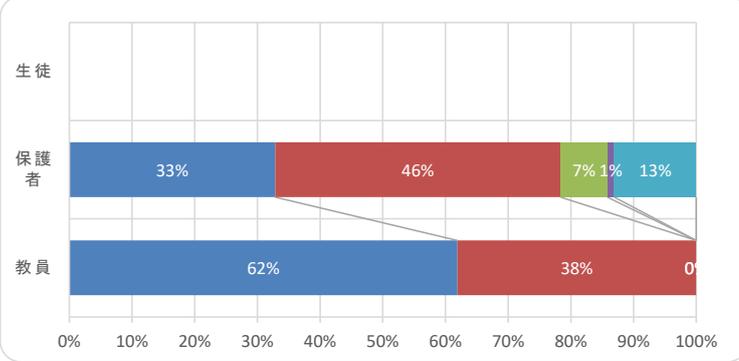
分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(保護者83%) 前回同様の結果となった。今後も保護者に対して情報発信していきたい項目である。

学校

●本校は特別支援教室巡回指導拠点校であり、特別支援自立活動の授業やガイダンスを通常の学級でも行っています。生徒の取り組み姿勢は非常に良いです。ここでも人と関わり学び合って成長することを意識させています。



21. 子どもたちはよく挨拶をしている。

分析・コメント

学校運営協議会 ()内は、7月調査のA+Bの割合です。

●(生徒96%、保護者88%)前回同様の結果となった。生徒の肯定的意見の割合がほぼ100%、素晴らしい結果となった。今後もぜひ継続していただきたい。

学校

●浅中の「あ」は挨拶「あ」という卒業生が引き継いできた意識がよい形で残っています。より自分から挨拶をして「自分を磨き」、人間力を高めてくれることを願っています。

